

国土技術政策総合研究所 横須賀庁舎 (事後評価)



平成19年2月23日 国土交通省関東地方整備局

旧施設の状況1

◆ 老 朽 化

→ 管理部庁舎、守衛室

S40年建築(建築後38年経過)

→ 標準化作業室

S35年建築(建築後43年経過)

→ 設計基準化作業室

S38年建築(建築後40年経過)

→ (旧)電子計算機室

S37年建築(建築後41年経過)

→ 図書室

S45年建築(建築後33年経過)

◆ 狭 隘 化

→ 必要延面積の7割程度

(旧施設延面積計: 3, 336m²)

◆ 管理棟、研究棟の分散



管理部庁舎



標準化作業室

旧施設の状況2(平面図)



計画平面図



施設概要

- ◆敷地面積：約15,418m²
- ◆延べ面積：約4,844m²
- ◆構造：RC-3
- ◆設計：平成14年5月～平成15年2月
- ◆工期：平成15年2月～平成16年3月
- ◆総事業費：約22億円
- ◆延べ面積1m²あたりの工事費：約33万円／m²

※ 特殊な仕様等を除いた庁舎の1m²あたりの工事費

施設の利便性

【アンケート結果】

Q. この施設は利用しやすいか

対象：国総研職員（66人）

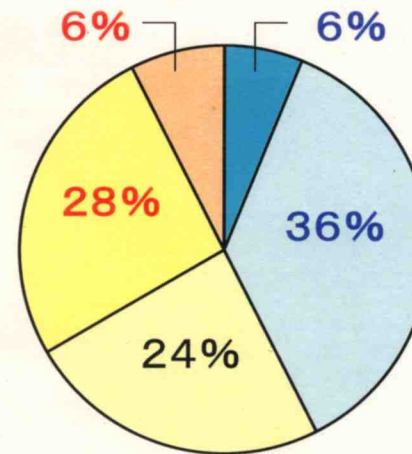
○ 利用しやすい（42%）

・ ゆったりしている

× 利用しづらい（34%）

・ 室内の照明が暗い

・ 案内表示がわかりづらい



■ 利用しやすい
■ まあ利用しやすい
■ どちらでもない
■ やや利用しづらい
■ 利用しづらい

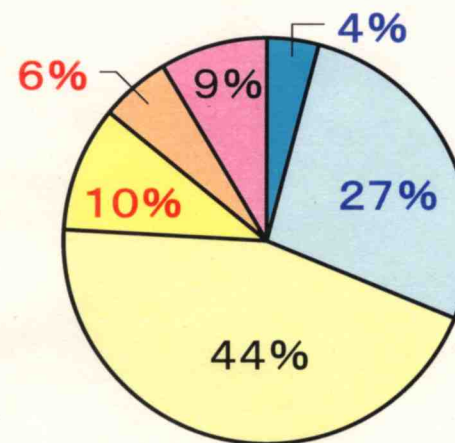
対象：独法港空港研職員（70人）

○ 利用しやすい（31%）

・ ゆったりしている

× 利用しづらい（16%）

・ 室内の照明が暗い



■ 利用しやすい
■ まあ利用しやすい
■ どちらでもない
■ やや利用しづらい
■ 利用しづらい
■ 利用したことがない

※ 調査日：平成18年9月

執務環境の向上

【アンケート結果】(国総研職員(16人))

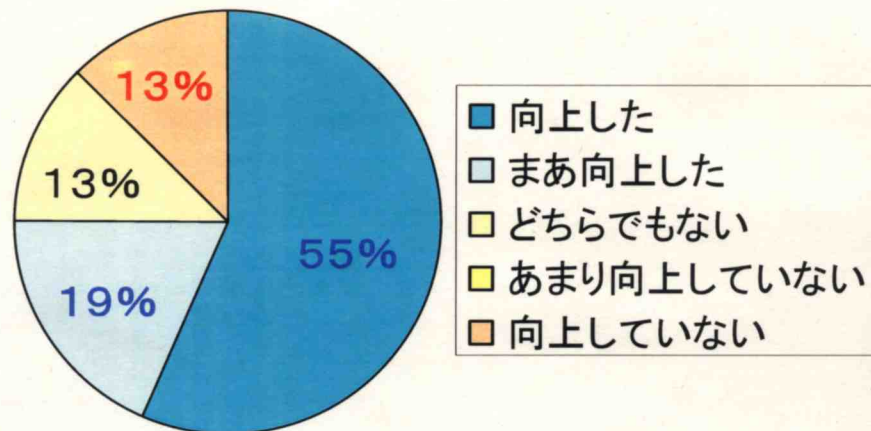
Q. 執務環境は向上したか

○ 向上した(74%)

- ・ 執務スペース、打合せスペースが広がった
- ・ 事務室が明るくなった

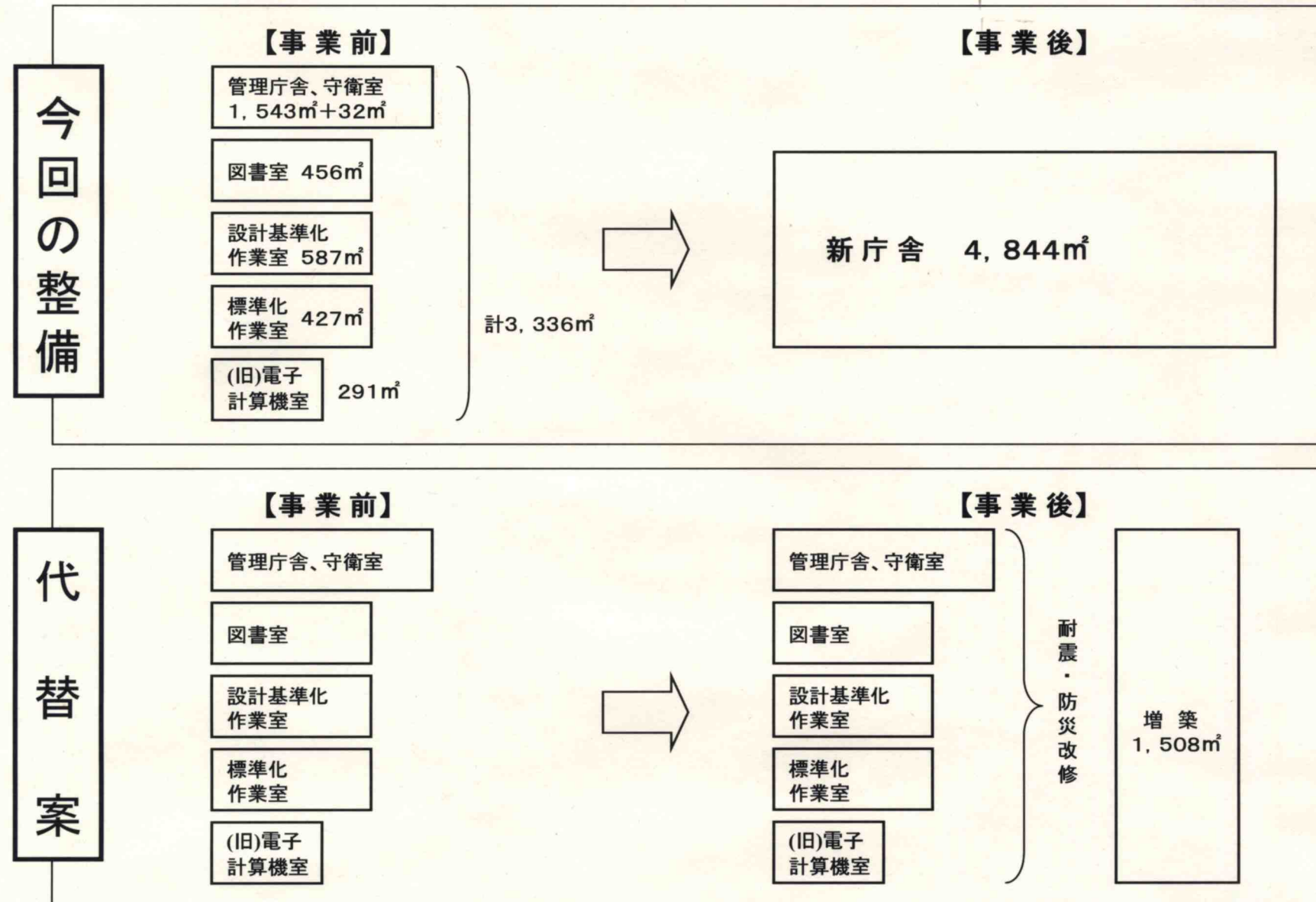
× 向上していない(13%)

- ・ 採光の悪化



※ 調査日:平成18年9月

代替案の考え方



事業の効果

■費用対効果

(単位:百万円)

項目	種別	効果
効果		3,524
土地有効利用	土地処分益	0
利用者の利便	立地の改善	0
建物性能の向上		3,521
(代替案を実施する場合 にかかる費用で計上)	狭隘解消	3,275
	既存庁舎の維持修繕費	1,873
	増築庁舎の初期費用、 維持修繕費	1,402
	事故・災害の縮小	246
環境への配慮	地球環境保全への寄与	3
B without ※事業を実施しなかった場合の便益		▲ 928
総効果(B)		2,596

(単位:百万円)

項目	種別	費用
費用		3,416
初期費用	建設費	2,153
	企画・設計関係費	85
	解体費	91
	土地取得費	0
	維持修繕費	1,087
C without ※事業を実施しなかった場合にかかる費用		▲ 928
総費用(C)		2,488

費用対効果(B/C)=1.04

■その他の効果

- ・ 管理棟、研究棟の集約による利便性の向上・業務の効率化
- ・ 老朽・狭隘の解消とともに高度情報化に対応

今後の対応方針(案)

当初計画の目的としては概ね達成できている。今後、定期的に庁舎の実態調査を行い、利用者の利便性を確保しつつ経年などによる業務能率の低下等を招くことのないよう、保全指導や適切な時期に改修等を実施していく。